

第19回

滝沢市郷土芸能まつり

～岩鷲の里に神が舞う～



日時 令和8年1月25日(日)

午前10時開演(9時半開場)

会場 ビッグルーフ滝沢 大ホール

主催 滝沢市教育委員会

共催 滝沢市郷土芸能保存団体協議会

後援 滝沢市芸術文化協会、(一社) 岩手県文化財愛護協会、岩手日報社、
NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、
岩手朝日テレビ

◆第 19 回滝沢市郷土芸能まつり （開場 9:30～）

出演団体等	予定時間
開会行事	10:00～
【オープニング】 元村こどもさんさ愛好会	10:05～
★ 今回のまつりのテーマを紹介	10:20～
川前神楽保存会	10:30～
大沢さんさ踊り保存会	11:10～
大沢田植踊り保存会	11:30～
休憩時間(12:00～13:00)	
篠木神楽保存会(鳥舞、八幡舞)	13:00～
滝沢駒踊り保存会	13:40～
滝沢市さんさ踊り保存会	13:55～
★ 今回のまつりのテーマを紹介	14:15～
【ゲスト】浅沢神楽保存会	14:25～
【ゲスト】民謡 藤岡 祐衣さん	15:05～
篠木神楽保存会(獅子舞)	15:25～
お礼の言葉	15:45～

出演団体紹介 元村こどもさんさ愛好会

出 演	元村こどもさんさ愛好会	
紹 介	<p>元村こどもさんさ愛好会は、滝沢小学校、滝沢中央小学校、滝沢中学校の児童生徒を中心に、現在 31 名が在籍しています。</p> <p>元村地区に伝わるさんさ太鼓と踊りを継承するために年間を通じて練習に励んでおり、今では 15 種類の太鼓と踊りが引き継がれています。</p> <p>今年度も地域のイベントだけでなく、盛岡市内のイベントに出演するなど活動機会が増えております。</p> <p>伝統の技を磨きながら、これからも子ども達が楽しく活動し、地域の皆様に愛される活動を継続していきたいと思っております。</p>	
演 目	元村 3 番、元村 4 番、元村 5 番、神楽くずし、甚句くずし、ナニャトヤラ、手合わせ、よしやれくずし、花笠踊り、手ぬぐい踊り、礼太鼓、通り太鼓	
出演者	<p>工藤 春花（年中）</p> <p>工藤 百花（滝沢中央小 1 年）</p> <p>大坊 英治（滝沢小 1 年）</p> <p>中田 緒咲（滝沢小 1 年）</p> <p>小関 心敦（滝沢小 2 年）</p> <p>中田 雄咲（滝沢小 2 年）</p> <p>山崎 結葵奈（滝沢中央小 3 年）</p> <p>小関 望心（滝沢小 3 年）</p> <p>工藤 彩花（滝沢中央小 3 年）</p> <p>大坊 皐月（滝沢小 3 年）</p>	<p>天瀬 悠琳（月が丘小 4 年）</p> <p>一ノ渡 陽禾（滝沢中央小 4 年）</p> <p>井上 濤（滝沢小 4 年）</p> <p>中野崎 結虎（滝沢小 5 年）</p> <p>打野 詩織（滝沢小 5 年）</p> <p>及川 紗菜（滝沢小 5 年）</p> <p>高橋 茜（滝沢中央小 6 年）</p> <p>天瀬 にな（月が丘小 6 年）</p> <p>中野崎 七結（滝沢中 1 年）</p> <p>天瀬 ひな（北陵中 2 年）</p>



出演団体紹介 川前神楽保存会

出 演	川前神楽保存会 市指定無形民俗文化財（昭和 52 年 12 月 10 日）
紹 介	<p>およそ 200 年前に秋の収穫を祝い、篠木神楽一行が川前地区を訪れ神楽を舞ったと言われており、その当時、権現様を祀っていた川前地区の先祖が篠木神楽を習ったのが始まりと聞いています。</p> <p>昔は、神道神楽として岩手山神社例大祭で奉納し、登山者安全の願掛けをしておりその後、岩手山講中神楽の指定を受けました。</p> <p>昭和 52 年 12 月 10 日、市指定無形民俗文化財の指定を受け、現在は小中高生の応援も頂き様々なイベントに参加しております。</p>
演 目	鳥舞、八幡舞
出演者	<p>◇鳥舞 下黒澤奏穂（高 1） 太田唯愛（滝沢東小 6 年）</p> <p>外下千紗（滝沢東小 6 年） 外下有紗（滝沢東小 6 年）</p> <p>佐々木未来（滝沢東小 6 年） 沼井咲楽（滝沢東小 6 年）</p> <p>川平暖（滝沢東小 6 年） 伊藤千加（滝沢東小 6 年）</p> <p>◇八幡舞 高橋聖子 鈴木恵理 松村しずく</p> <p>◇太鼓 熊谷修治 齊藤常明</p> <p>◇笛 熊谷正弘 熊谷誉也</p> <p>◇鉦 熊谷初男 熊谷晃</p> <p>◇保存会 齋藤綱子 八木田和幸</p>



出演団体紹介 大沢さんさ踊り保存会

出 演	大沢さんさ踊り保存会 市指定無形民俗文化財（令和 5 年 2 月 27 日）																																						
紹 介	<p>大沢さんさ踊り保存会の歴史は、大正 10 年に現在の田沢湖線開通式の祝賀会で踊ったとの記録が最古のものとして残っています。</p> <p>小道具を使った踊りが特徴で、若苗をイメージした「あや」を使う「田植え踊りくずし」や扇を使う「剣ばやしくずし」「はやし舞くずし」などがあります。</p> <p>現在会員は年少から 70 代までと幅広く、盛岡さんさ等年中通して様々なイベントに出演させていただいています。</p> <p>これからも仲間が増え、伝統さんさ踊りを継承し、皆様に楽しんで見ていただけるよう努力していきたいと思います。</p>																																						
演 目	大沢一番、大沢手合せ、神楽踊りくずし、田植踊りくずし、茶屋節くずし、剣ばやしくずし、はやし舞くずし、甚句くずし、はやし舞、大沢礼踊り																																						
出演者	<table border="0"> <tr> <td>◇太鼓</td><td>◇前踊り</td></tr> <tr> <td>三上 秀行</td><td>太田 愛理（一本木中 3 年）</td></tr> <tr> <td>藤原 靖洋</td><td>高田 彩華（盛岡中央高 1 年）</td></tr> <tr> <td>鎌田 眞紀</td><td>◇踊り</td></tr> <tr> <td>中野 亜希子</td><td>藤倉 寛恵</td></tr> <tr> <td>高田 徠世（盛岡中央高 2 年）</td><td>高橋 果穂</td></tr> <tr> <td>高田 紫月（滝沢南中 1 年）</td><td>高橋 美幸</td></tr> <tr> <td>斉藤 徳造</td><td>武田 美和</td></tr> <tr> <td>◇唄</td><td>川崎 尚子</td></tr> <tr> <td>斉藤 弘美</td><td>高橋 咲紀</td></tr> <tr> <td>杉下 憲子</td><td>武井 厚子</td></tr> <tr> <td>◇笛</td><td>村山 イセ子</td></tr> <tr> <td>小松 芙希子</td><td>紺野 久子</td></tr> <tr> <td>◇提灯</td><td>阿部 淳子</td></tr> <tr> <td>2 名</td><td>太田 美織（一本木小 6 年）</td></tr> <tr> <td>◇めくり</td><td>齋藤 結愛（不来方高 2 年）</td></tr> <tr> <td>1 名</td><td>高田 真白（篠木小 2 年）</td></tr> <tr> <td></td><td>堰合 蓮（盛岡大学附属高 2 年）</td></tr> <tr> <td></td><td>田沼 睦子</td></tr> </table>	◇太鼓	◇前踊り	三上 秀行	太田 愛理（一本木中 3 年）	藤原 靖洋	高田 彩華（盛岡中央高 1 年）	鎌田 眞紀	◇踊り	中野 亜希子	藤倉 寛恵	高田 徠世（盛岡中央高 2 年）	高橋 果穂	高田 紫月（滝沢南中 1 年）	高橋 美幸	斉藤 徳造	武田 美和	◇唄	川崎 尚子	斉藤 弘美	高橋 咲紀	杉下 憲子	武井 厚子	◇笛	村山 イセ子	小松 芙希子	紺野 久子	◇提灯	阿部 淳子	2 名	太田 美織（一本木小 6 年）	◇めくり	齋藤 結愛（不来方高 2 年）	1 名	高田 真白（篠木小 2 年）		堰合 蓮（盛岡大学附属高 2 年）		田沼 睦子
◇太鼓	◇前踊り																																						
三上 秀行	太田 愛理（一本木中 3 年）																																						
藤原 靖洋	高田 彩華（盛岡中央高 1 年）																																						
鎌田 眞紀	◇踊り																																						
中野 亜希子	藤倉 寛恵																																						
高田 徠世（盛岡中央高 2 年）	高橋 果穂																																						
高田 紫月（滝沢南中 1 年）	高橋 美幸																																						
斉藤 徳造	武田 美和																																						
◇唄	川崎 尚子																																						
斉藤 弘美	高橋 咲紀																																						
杉下 憲子	武井 厚子																																						
◇笛	村山 イセ子																																						
小松 芙希子	紺野 久子																																						
◇提灯	阿部 淳子																																						
2 名	太田 美織（一本木小 6 年）																																						
◇めくり	齋藤 結愛（不来方高 2 年）																																						
1 名	高田 真白（篠木小 2 年）																																						
	堰合 蓮（盛岡大学附属高 2 年）																																						
	田沼 睦子																																						



出演団体紹介 大沢田植踊り保存会

出 演	大沢田植踊り保存会 市指定無形民俗文化財（昭和 61 年 7 月 26 日）
紹 介	<p>厳しい自然条件の中で農作業に励んだ農民の豊穡への祈りが込められています。口承によると 330 年位前に上鵜飼から伝わったとされ、雫石町の葛根田田植踊りにも指導したこともあるといわれています。</p> <p>また、田植え踊りは、豊作を願って踊る民俗芸能です。小正月、つまり旧暦の 1 月 15 日頃から昔は家々をめぐって演じていました。五月女（しょうとめ）の「傘ふり」が珍しく、間をつなぐ「中踊り」が充実した踊りになっていること、一八（いっばち）という道化男が活躍することが特徴ですが、これに三番叟・狂言・囃子舞・万歳といった演目が伝わって、単に田植踊りというよりも、複合的な演出になっています。</p>
演 目	口上切り、馬夫踊り（ばふおどり）、五月女踊（しょうとめおどり）
出演者	<p>◇太鼓 齊藤昌章</p> <p>◇笛 大坪佐市 伊東義隆</p> <p>◇鳴物 大坪勇一 澤村和彦 澤村蘭子 澤村志保 大坪ミヤ子 菊地睦子 堰合溶代 大坪夕紀</p> <p>◇唄 齊藤徳造</p> <p>◇馬夫踊り 堰合幸一郎 藤倉一 澤村彰 中井慶輔</p> <p>◇五月女 堰合市佳（滝沢南中 3 年） 大坪杏風（滝沢南中 1 年） 堰合史佳（篠木小 6 年） 堰合令佳（篠木小 3 年）</p> <p>◇解説 佐々木真理子</p>



出演団体紹介 篠木神楽保存会

出 演	篠木神楽保存会 県指定無形民俗文化財（平成 23 年 5 月 10 日）																													
紹 介	<p>篠木神楽は滝沢市篠木の地にある田村神社の奉納神楽で、神主である斎藤家の秘流として、古くから伝えられてきた神楽で、400 年以上の歴史がある神楽です。</p> <p>演目は、鳥舞、八幡舞、山神舞、獅子舞など 26 番あります。</p> <p>県文化財専門委員の故森口多里氏によると「篠木神楽は、きれいだとか華やかだとかに反し、古雅、簡素、素朴で由緒正しい伝統を持ち、昔のまま保存されている県内の山伏神楽とは舞型も異にしており、文化財価値が非常に高い」と評されており、昭和 42 年 3 月 1 日に滝沢市（※当時は村）の無形民俗文化財第 1 号に指定され、平成 23 年 5 月 10 日に岩手県無形民俗文化財の指定を受けています。</p>																													
演 目	鳥舞（子ども）、八幡（子ども）、獅子舞（大人）																													
出演者	<p>◇鳥舞・八幡</p> <table><tr><td>井上 心晴（滝沢小 4 年）</td><td>武田 雄真（篠木小 4 年）</td></tr><tr><td>青山 優希（篠木小 6 年）</td><td>小松 空央（篠木小 6 年）</td></tr><tr><td>今 優太（篠木小 6 年）</td><td>武田 幸賢（篠木小 6 年）</td></tr><tr><td>武田 雄志（篠木小 6 年）</td><td>天川 陽琉（篠木小 6 年）</td></tr><tr><td>細谷 旬（篠木小 6 年）</td><td>芳平 愛斗（篠木小 6 年）</td></tr><tr><td>高田 祥希（岩大附属小 6 年）</td><td>工藤 優響（滝沢南中 1 年）</td></tr><tr><td>高田 知凡（白百合中 3 年）</td><td></td></tr></table> <p>◇獅子舞</p> <table><tr><td>斉藤 義見</td><td>斉藤 禎和</td><td>沢村 道春</td><td>工藤 美智子</td></tr><tr><td>伊東 義隆</td><td>川村 隆平</td><td>主濱 忠男</td><td>高橋 敏彦</td></tr><tr><td>主濱 義幸</td><td>武田 勝</td><td>高田 正太</td><td></td></tr></table>				井上 心晴（滝沢小 4 年）	武田 雄真（篠木小 4 年）	青山 優希（篠木小 6 年）	小松 空央（篠木小 6 年）	今 優太（篠木小 6 年）	武田 幸賢（篠木小 6 年）	武田 雄志（篠木小 6 年）	天川 陽琉（篠木小 6 年）	細谷 旬（篠木小 6 年）	芳平 愛斗（篠木小 6 年）	高田 祥希（岩大附属小 6 年）	工藤 優響（滝沢南中 1 年）	高田 知凡（白百合中 3 年）		斉藤 義見	斉藤 禎和	沢村 道春	工藤 美智子	伊東 義隆	川村 隆平	主濱 忠男	高橋 敏彦	主濱 義幸	武田 勝	高田 正太	
井上 心晴（滝沢小 4 年）	武田 雄真（篠木小 4 年）																													
青山 優希（篠木小 6 年）	小松 空央（篠木小 6 年）																													
今 優太（篠木小 6 年）	武田 幸賢（篠木小 6 年）																													
武田 雄志（篠木小 6 年）	天川 陽琉（篠木小 6 年）																													
細谷 旬（篠木小 6 年）	芳平 愛斗（篠木小 6 年）																													
高田 祥希（岩大附属小 6 年）	工藤 優響（滝沢南中 1 年）																													
高田 知凡（白百合中 3 年）																														
斉藤 義見	斉藤 禎和	沢村 道春	工藤 美智子																											
伊東 義隆	川村 隆平	主濱 忠男	高橋 敏彦																											
主濱 義幸	武田 勝	高田 正太																												



出演団体紹介 滝沢駒踊り保存会

出 演	滝沢駒踊り保存会 市指定無形民俗文化財（昭和 59 年 6 月 19 日）	
紹 介	<p>駒踊りは、昔の南部藩領内に広く伝承されています。放牧中の馬の動作を基本にして愛らしさを巧みに表現した踊りです。大正時代に旧大野村から盛岡郊外の外山牧場に伝わり、昭和 12 年に外山から滝沢に来たものです。馬にまつわる芸能は、人間と関係が深いので全国的にありますが、やはり岩手、青森が最も多いと言われます。十和田などでは馬に武士が乗っていますが、大野系は農民が馬に乗っています。チャグチャグ馬コも端午の節句に馬を休ませる農業歳時から生まれている行事ですが、滝沢駒踊りは農民芸能です。</p> <p>毎年 6 月のチャグチャグ馬コの行進では、滝沢駒踊りが祭りを盛り上げる大役を果たしています。また、チャグチャグ馬コの行進前に鬼越蒼前神社で奉納し、その後行進が来る前にビッグルーフ滝沢、盛岡駅前、盛岡市肴町商店街で踊り、観光客を楽しませています。</p>	
演 目	駒踊り	
出演者	<p>◇踊り手 鍵本紗那（滝沢第二小 6 年） 佐々木結奈（滝沢第二小 6 年） 鍵本理帆（滝沢第二小 3 年） 三浦梨瑚（滝沢第二小 3 年） 鍵本真生（滝沢第二小 1 年） 西城椿咲（滝沢東小 3 年） 熊谷桃萌香（滝沢第二小 6 年） 及川朝子（滝沢第二小 1 年） 熊谷幸柚（滝沢東小 3 年） 高橋日咲（滝沢第二小 5 年） 小川杏寧（滝沢第二小 5 年） 千葉楓（滝沢第二小 5 年） 小田島綾葉（滝沢第二小 5 年） 小田島彩葉（滝沢第二小 3 年）</p> <p>◇笛 堀江徹 伊東義隆 及川香子</p> <p>◇太鼓 小野寺正広 熊谷久美子</p> <p>◇金すり 阿部竜乃介 熊谷教央</p> <p>◇馬引き 清水治美 阿部蓮真（滝沢東小 6 年）</p>	



出演団体紹介 滝沢市さんさ踊り保存会

出 演	滝沢市さんさ踊り保存会 市指定無形民俗文化財（令和5年2月27日）	
紹 介	<p>さんさ踊りは、旧南部領における代表的な盆踊りとして、お盆を中心にどこの集落でもよく踊られていました。</p> <p>滝沢市さんさ踊りは、旧滝沢村時代に村の伝統さんさ踊りを普及するために昭和54年保存会が発足。滝沢村さんさ踊り保存会を結成し市制移行後は、滝沢市さんさ踊り保存会として活動を継続。令和5年2月に滝沢市指定無形民俗文化財に登録されました。</p> <p>衣装のゆかたには、郷土の誇りチャグチャグ馬コと「たきざわ」の文字がデザインされています。旧滝沢村時代から鵜飼小学校などの市内運動会で踊られており、踊りを教える活動にも力を入れて、会員は高校生以下の子供達が多く、活気あふれる団体です。</p> <p>現在9演目を継承、笛や太鼓かけ声でにぎやかにはやし、踊りも二人で交差して踊る違い踊りの「手合わせ」や、手踊りとも言われるしなやかな手の動き、踊りおわって御礼の「礼踊り」は花笠を手に持って踊るのが特徴であり見どころです。さんさ踊りに「サッコラチョイワヤッセ」というかけ声があり、「サッコラ」を漢字に表すと、幸せ、呼ぶ、来ると書きます。本日は皆様に幸せが訪れますようお願いを込めて踊らせていただきます。</p>	
演 目	サッサノサ、滝沢一番、カトダンダン、キッキカッカ、手合わせ、よしやれくずし、カッタゴダン、礼踊り、通り太鼓	
出演者	<p>◇太鼓 小山 凜奈（滝沢中央小6年） 橋本 咲恵（滝沢中央小6年） 細谷 旬（篠木小6年） 芳平 愛斗（篠木小6年） 太田 夢乃（滝沢南中1年） 大谷 七禾（滝沢中1年） 吉田 南翔（滝沢中1年） 大谷 文杜（盛岡北高1年）</p> <p>◇踊り 川村 來子（鵜飼小1年） 小山 杏奈（滝沢中央小2年） 吉田 南愛（滝沢中央小2年） 工藤 みのり（篠木小4年） 平子 優菜（鵜飼小5年） 神田 実玖（滝沢中1年） 豊島 結芽（滝沢南中2年） 田頭 香歩（滝沢中2年） 村里 凜（滝沢南中3年） 鈴木 新（盛岡大附高1年） 佐々木 愛心（盛岡北高3年）</p> <p>◇一八 姫野 心（滝沢中央小6年） ◇唄 平野 心結（滝沢南中1年） ◇かけ声 神田 琉之介（滝沢小2年） 太野 晴喜（滝沢小3年） ◇笛 佐々木 和泉 ◇めくり 角掛 則浩 ◇高張提灯 遠藤 仁人 田沼 一明</p>	



ゲスト 浅沢神楽保存会

出 演	浅沢神楽保存会 八幡平市指定無形民俗文化財（昭和 52 年 4 月 6 日）																		
紹 介	<p>浅沢神楽は、「山伏神楽」または「里神楽」と呼ばれ、鎌倉時代に山伏の一行が現在の二戸市浄法寺飯近（ねづか）部落に移住し、そこから「神楽」を伝播したのが始まりと言われています。</p> <p>後に九戸政実の乱で功績のあった「浄法寺太郎修理之助」の武運長久・領民安穏・五穀豊穰・悪病退散を祈願し奉納した舞が今に伝わる浅沢の神楽とされています。</p> <p>本日の「権現舞」は、悪魔・霊獣（疫病）を祓うことを祈願し獅子が悪霊と戦いなだめて退散せしめるという舞になります。</p> <p>この獅子に噛んでもらうことにより、個々の痛みや病は祓われ、祈願が叶うとされています。（皆さんも噛んでもらいましょう。）</p> <hr/> <p>浅沢地域の神楽伝承活動として、毎年 5 月 4 日に「神楽祭り」を開催しています。今年は伝承活動 50 年を迎えたので、それを記念した祭りを企画しております。</p>																		
演 目	権現舞																		
出演者	<table border="0"> <tr> <td>◇太鼓</td><td>◇手平鉦</td></tr> <tr> <td>北口 美智子</td><td>佐藤 和典</td></tr> <tr> <td>齋藤 貴博</td><td>湯沢 崇史</td></tr> <tr> <td>◇歌</td><td>◇舞</td></tr> <tr> <td>佐藤 富男</td><td>北口 明</td></tr> <tr> <td>◇笛</td><td>佐藤 貴紀</td></tr> <tr> <td>佐藤 一哉</td><td>佐藤 克哉</td></tr> <tr> <td>石田 勝巳</td><td>佐藤 啓太</td></tr> <tr> <td></td><td>北口 遼</td></tr> </table>	◇太鼓	◇手平鉦	北口 美智子	佐藤 和典	齋藤 貴博	湯沢 崇史	◇歌	◇舞	佐藤 富男	北口 明	◇笛	佐藤 貴紀	佐藤 一哉	佐藤 克哉	石田 勝巳	佐藤 啓太		北口 遼
◇太鼓	◇手平鉦																		
北口 美智子	佐藤 和典																		
齋藤 貴博	湯沢 崇史																		
◇歌	◇舞																		
佐藤 富男	北口 明																		
◇笛	佐藤 貴紀																		
佐藤 一哉	佐藤 克哉																		
石田 勝巳	佐藤 啓太																		
	北口 遼																		



ゲスト 民謡歌手 藤岡 祐衣 さん

ゲスト	藤岡 祐衣
紹介	<p>岩手県滝沢市出身 母の影響で3歳から民謡を始め、現在は県内外の大会や舞台に出演しています。</p> <p>【これまでの主な経歴】</p> <p>平成29年 ・ 第56回岩手県知事杯争奪民謡王座決定戦 優勝 ・ 第46回全東北民謡選手権 優勝</p> <p>平成30年 ・ 第39回NHK東北民謡コンクール優勝大会 大賞</p> <p>令和3年 ・ (公)日本民謡協会 民謡民舞全国大会 青年部(松の部) 優勝</p> <p>令和6年度 ・ 第64回日本郷土民謡協会 民謡民舞全国大会 ヤング編の部 優勝</p> <p>令和7年度 ・ 令和七年度(公)日本民謡協会 民謡民舞東北地区大会 民謡竹韻一部 優勝</p> <p>など、多くの大会で最高賞を受賞されています。</p>
演目	さんさ時雨 など
出演	<p>◇唄 藤岡 祐衣</p> <p>◇三味線 三代目 井上 成美</p> <p>◇太鼓 藤岡 理子</p> <p>◇踊り 八重樫 潮 八重樫 岬</p> 